



変化の中核となるもの (沖縄観光を拡大させる主要因)

(12月のごあいさつ)
平成30年12月1日(土)

先週、大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行ってきた。

沖縄の観光客数が、ハワイと並んだ。1972年の本土復帰時の観光客数は44万人、今年は1,000万人となるグラフを見ている。沖縄の観光の将来は、**発展する大陸**のような迫力を感じさせる。3時間圏内に、10億人の人口をかかえる沖縄は、この先、どれほどの大きさに成長するのか、**楽しみ**であり、また**大きな課題**でもある。観光客数の伸びは、その**地域における観光力の現状と将来を表す適切な指標**ではないだろうか。

観光客数を増加させる主力となる要因はどこにあるのであろうか。

振り返って、今まで沖縄観光の**拡大の主要因**となって来たものを見ると、最初の頃は、**観光客の買物**が主であった。次に**飲食**が観光客の主なターゲットになって行ったように思う。それは、最近の**外国人観光客の行動様式**にも端的に現われている。最初の頃は**買物中心**であったのが、次第に**飲食**に移っている。これは、国際通りの商店街の盛衰からもよく解る。

観光客数を増加させ、維持する、次に来る**要因**となるものは何であろうか。**買物、飲食**の次に来るのは、**コト**ではないだろうか。大阪のユニバーサルスタジオで見たのは、**買物もするし、飲食もするが、来場の目的**となっているのは、**その場所そのもの、そしてそこで行われているコト**が主になって、人を呼び、活況を呈しているように見えた。若い人や家族連れが集まる**その場所**と、**その場所で行われること**が中心であると感じた。場所を提供するということは、**具体的には投資**である。

買物、飲食、コト(場所)・・・コトとは言い変えれば、**投資**である。ユニバーサルスタジオには、約1,700億円が投ぜられ、その中で呼物となった**ハリーポッター・ワールド**には、約450億円が、投ぜられたという。莫大な投資により作られた**テーマパーク**が人を呼び、**楽しませ**、その効果として**莫大な収入**をもたらす。しかし、それに成功しないと、ドリームランドや初期のハウステンボスの惨状を呈するおそれもある。投資の失敗は取返しがつかない。沖縄の北部に計画されているテーマパークも**500億円規模の投資**が行われると言われている。**無料の海洋博公園**のように人が集まればよいが。それによる**観光客数の増加と投資回収**が**沖縄の未来**となるのであろうか。